

子どもたちと向き合う職員に  
想いを語ってもらいました

## 教育支援センター 職員インタビュー

「助けて」を伝えられる人が**近くにいる**ことが何より大事

当センターは子どもにとって「居心地が良いか」を大切にしています。その上で、その子の持ち味に合った支援を行なっています。しかし、ただ「居場所」だけがあればいいという訳ではなく、「出番」も必要です。自分の出番を通じて「自分にもできること」や「役割」を体験してもらえ居場所づくりを心がけています。家庭内でも、まずは何気ない会話から、話し合える環境「居場所」を作ってあげてください。そ

して、子どもが自分から出せないSOSに何とか気付いてあげてほしいです。  
心配や不安な時は、躊躇せず相談してみてください。当センターでも他の居場所でも、そこがどんな場所であっても、悩んでいる子どもに良い選択肢が見つかることが何より嬉しいです。



教育支援センター長 もり たつねよし 森田常義さん

私たちは困っている**あなたの**助けになりたい

「あなたは独りぼっちじゃないよ」と伝えてあげられる存在になりたい。不安になることは悪いことじゃない。自分が孤独で不安だとしても、悩まなくて大丈夫。あなたの良き理解者に会える時が、いつか必ず来ます。それが当センターだったり、私たちであれば一番嬉しいです。

あなたにとって、通いたいと思える場所になりたいです。良かったら心のエネルギーを溜めに体験に来てください。あなたたちが元気になっていく姿は、私たちが幸せな気持ちにしてくれます。



相談員 (心理士) よしだ あおい 吉田葵さん (左)、ふかざわ かずお 深澤一雄さん (右)

安心して過ごせる**場所**を提供したい

子どもは不登校になったことに負い目を感じやすいので、支えてあげたい。あなたの家族以外にも、あなたを大事に思ってくれる人がここにいるんだよ！と、伝えたいです。不登校に悩むのは保護者でも同じです。自分だけで抱え込まず、一步をふみ出して私たちに頼ってください。親子それぞれの支えになれば嬉しいです。憩の部屋に来て、心の栄養を充電してくださいね。



指導員 だんむら 段村ゆかりさん (左)  
にしまり こ 西麻里子さん (右)

あなた自身には**何も非はない**

不登校は結果です。決して自分に原因を探して責めないで。私たちは君たちの「今」を支えるけれど、「今」だけが全てではない。どうか前向きな気持ちをもってください。支援の始まりが早ければ、回復も早まります。もし悩んでいるご家庭があれば、ぜひ相談にお越しください。



センター長補佐 おくだ まさひろ 奥田雅昭さん (中)  
育成員 おおた こうし 太田敦久さん (左) ふくい ちはる 福井千晴さん (右)

# 01

## 公的支援の窓口



### 教育支援センター

住所 御幸辻787番地の2  
問合せ ☎32-1512

今年4月、教育相談や適応指導、青少年の非行防止や健全育成に一体的に取り組むため、青少年センターと教育相談センターが統合して教育支援センターが誕生しました。  
児童生徒や保護者、学校関係者が相談できる場として、さらに登校が困難な子どもたちの居場所として、心理士や教員OBなど、専門知識や経験を持った職員がサポートにあたっています。

活動の様子 子どもたちの個性に合わせた取組みをしています



**適応教室「憩の部屋」**  
部屋の仲間や指導員、スタッフ、メンタルフレンド(18歳〜24歳のボランティア)と一緒に体験活動に取り組むことで、人と関わる不安や悩みを和らげることを目指す場所です。  
「憩の部屋」に参加すると、学校の出席扱いと認められます。



### 相談対応

不登校やいじめ、学校生活、家庭生活上の悩みや子育ての不安などについての相談に応じます。上記電話番号へお申込みください。

### 子どもメール相談

対面では話しづらい学校生活・交友関係、異性問題などについて、メールで相談を受付けています。相談内容の秘密は守られます。左のQRコードを読み取り、相談内容をメールしてください。



### 開室時間

- 中学生 月・火・金曜日 午前9時30分〜午後2時
  - 小学生 水・木曜日 午前9時30分〜正午
- ※利用生の状況により、変更する場合があります

### 入室方法

参加を希望する場合は、在籍校と相談の上、教育支援センターへご連絡ください。見学や体験、面談を行なったのち、正式入室となります。

# 03

## 自宅で受けられる支援



Online learning

**ICTによる学習支援**

市では、登校が困難な市内在住の小中学生を対象に、民間の授業配信サービスを活用した学習支援事業を実施しています。

本事業は、ICTを活用して学習の遅れや学びの不安を軽減し、学校復帰を支援することを目的としています。通信費を除いて保護者の負担はありません。

学習内容が在籍する学校の教育課程として適切であると判断された場合、学校長判断で「出席」扱いとできたり、評価に反映されることがあります。不明点や相談については、各学校まで直接お問合せください。

### お子さんの不登校について悩む保護者の皆さんへ

#### 教育委員会 学校教育課より

不登校は怠けや甘えではなく、心や身体のサインです。今は「休むこと」を責めず、安心できる時間を確保し、見守ることが大切です。不登校の背景は無気力や不安、生活リズムの乱れや人間関係の悩みなどさまざまで、無理に原因を探るより子どもと一緒に「困っていること」に向き合ってあげてください。学校に行かなくても、ICT学習支援など学びを続ける道はありますので、将来をあきらめる必要はありません。また、保護者だけで悩まず、教育支援センターや学校の相談窓口をぜひ活用してください。

小さな変化も不登校のサインの場合があり、早めに気づき支援機関と連携することで適切な対応が可能になります。早期の支援が回復の第一歩です。小さな変化や気になる点が出てきた場合は、家庭内で抱え込まず、まずはお気軽にお子様が行っている学校にご相談ください。



学校教育課長 川原一真



● 問合せ  
学校教育課 033-6115

**夏休み明けは不登校になりやすい時期の一つとされています。**

学校に行けなくなる理由は一人ひとり異なりますが、「居場所がない」と感じることは、どんな子どもにとってもつらいことです。そうした悩みを寄り添いながら、子どもたちが無理をせず、自分の歩幅で新しい道を見つけていく手助けがあります。

保護者の皆さんには、子どもを支援する場や方法があることを知っていただければと思います。悩みを抱え込まずにぜひ一度ご相談ください。

### わが家

# 02

## フリースクール

フリースクールとは、従来の学校とは異なる学びの場を提供する民間の教育施設です。さまざまな活動を通して、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供し、社会とのつながりや自立をサポートします。学校教育法に規定された学校と異なり、学習指導要領に必ずしも従う必要がないため、各フリースクールが独自の教育方針やカリキュラムを設け、子どもたちが自分らしく過ごせる教育を提供しています。

フリースクール	教育支援センター
民間	運営主体 自治体
多様な学び居場所づくり	目的 学校復帰に向けての支援、社会的自立
学習、体験活動	活動内容 集団活動、自主学習
有料	利用費 原則無料
学校長の判断による	出席について 認められる

### スクールに関わるすべての人の「ごきげん」を目指します

イホルラ舎では、トラブルが起こっても話し合いで解決できるよう「対話」を大事にしています。

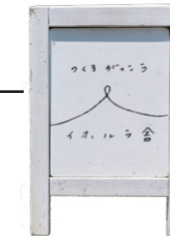
「元気である必要はない、不安定なままでいい。」子どもも大人もそのままを受け止め合う、安心して過ごせる居場所にするのを最優先に日々活動しています。



共同代表 柴田政治さん (右) 柴田香織さん (左)

### つくるがっこう イホルラ舎

開校日 月・火・木・金曜日 (祝日除く) 9:30~16:30  
住所 高野口町名古屋962番地  
問合せ Eメール info@ihorula.org



### 次のステップをあきらめないで

不登校支援や学習支援などコースにあわせた支援と安心できる居場所を用意しています。

進学や学習の相談も行なっています。あなたの次につながる道と一緒に見つけましょう。

### フリースクールいと

開校日 火・木曜日 15:00~20:00  
土曜日10:00~18:00 ※その他日時も応相談  
住所 紀見ヶ丘三丁目2番16号  
問合せ ☎070-2323-2225  
Eメール hedgehog8120@gmail.com



代表 石田敦さん

